

第六十四回帝國議會  
衆議院

# 鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速)第二回

付託議案  
鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

## 會議

昭和八年一月二十八日(土曜日)午前十時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 秦 豊助君

理事原 惣兵衛君 理事寺田 市正君

理事清水徳太郎君

中島 守利君 八田 宗吉君

三井 徳寶君 鈴木 義隆君

丹下茂十郎君 井阪 豊光君

大本貞太郎君 綾部健太郎君

横山金太郎君 村上紋四郎君

小池 仁郎君 井上 剛一君

同日委員山本厚三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ村上紋四郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 三土 忠造君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官 名川 侃市君

鐵道參與官 板谷 順助君

鐵道省運輸局長 日淺 寛君

鐵道省建設局長 池田 嘉六君

鐵道省工務局長 黒河内四郎君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

○委員長 是ヨリ開會致シマス、當局ヨリ御説明ヲ願ヒマス

○三土國務大臣 提案ノ理由ヲ本會議ニ於テ大略申上ゲマシタガ、少シ詳シイ説明ヲ

此場合ニ致シタイト存ジマス、今回鐵道敷設法ヲ改正シテ、其別表ニ追加セントスル

線路ハ、静岡縣ニ俣ヨリ愛知縣豊橋ニ至ル鐵道、愛媛縣卯之町ヨリ吉田町ヲ經テ宇和

島ニ至ル鐵道、及北海道根室國中標津ヨリ釧路國標茶ニ至ル鐵道ノ三線路デアリマ

ス、何レモ昭和八年度ヨリ工事ニ著手致シタイト考ヘテ居リマス、此三線ニ付キマシ

テ稍、詳細ニ御説明致シマス

二俣豊橋間ノ鐵道ハ、既定線掛川ニ俣間ノ鐵道ト相俟ツテ、濱名湖ノ北側ヲ廻ッテ東

海道本線ノ補助線トナルモノデアリマス、前カラ帝國ノ國防上、濱名湖ヲ迂廻スル線

路ガ欲シイト云フ要求ガ常ニ軍部ノ方カラ提出サレテ居リマシタノデアリマス、此附

近ノ鐵道線路網ノ圖ヲ見マスルト、辰野濱

松間鐵道、所謂第六十號線ト、掛川ヨリ大野ヲ經テ岐阜縣大井ニ至ル第六十三號線、

此二ツガ豫定線トシテ掲ゲラレテ居ルノデアリマス、右ノ中掛川ニ俣間ハ、大正十一年

第四十六議會ニ於テ建設線トシテ豫算ニ計上サレ、二俣佐久間間ハ大正十四年第五

十一議會ニ、同ジク豫算ニ計上サレタノデアリマス、其後一二ノ豫算年度割ノ變更ヲ

經マシテ、掛川ニ俣間ハ昭和七年度ニ工事ニ著手シタノデアリマス、一方大井明知間

ハ、大正十五年第五十二議會ニ豫算ニ計上サレテ、既ニ工事ニ著手中デアリマス、斯

ウ云フ譯デアリマスカラ、陸軍デハ佐久間明知間ハ昭和九年度マデニ建設シテ貫ヒタ

イト云フ要求デアリマスガ、二俣佐久間間ハ、天龍川ノ嶮ニ沿ッテ居リマシテ難工事デア

リマス、其上佐久間明知間ハ、殆ド全體ガ山間部デアリマシテ、是亦相當難工事デア

リ、短期間デハ技術上完成不可能デアリマスノデ、之ニ代ルモノヲ求メマスルト、

豫定線トシテハ二俣ヨリ大野ヲ經テ長篠ニ至ッテ豊川鐵道ト連絡スルヨリ外ナイノデア

リマス、二俣大野間ハ、途中見ルベキ都

邑モナク、且ツ山間部デアツテ、工事費モ相當嵩ムモノデ、單ニ濱名湖ヲ迂廻スル目的

ニハ、今度追加セントスルニ俣豊橋間ハ、總テノ點ニ於テ敷設法別表ニ現在掲ゲラレ

テ居ル線路ニ優ルノデアリマシテ、途中ニハ金指町、氣賀町、三ヶ日町等ノ相當ノ町

ガアツテ、經濟上カラモ、亦鐵道自體ノ經營上カラモ有利ト認メルノデアリマス、且ツ

陸軍ノ要求スル如ク、短期間ニ之ヲ竣工スルコトガ出來ルノデアリマシテ、掛川、二

俣間ヲ通ジテ迂廻線全體ハ昭和十年度ニ於テ之ヲ完成セントスルモノデアリマス、次

ニ愛媛縣卯之町、吉田、宇和島間鐵道ハ、第三百三號線ニ屬スル八幡濱、卯之町、宮野

下ヲ經テ宇和島ニ至ル線路ガ豫定サレテ居ルノデアリマス、其中八幡濱、卯之町間線

路ト相俟ツテ、八幡濱、宇和島間ヲ結ブ線路トナルノデアリマス、宇和島ニ達スル線路

ニ以前カラ二ツノ線路ガアリマシテ、一ツハ八幡濱カラ卯之町、宮野下ヲ經テ宇和島

ニ至ルモノデアリマシテ、是方所謂第三百三號線ニ屬スルモノデアリマス、尙ホ此第三百

三號線ニハ、宇和島カラ海岸ヲ廻ッテ高知

縣ノ中村ニ行ク線ト、宮野下カラ近永、江川崎ヲ經テ中村ニ達スル線モ含マレテ居ルノデアリマス、他ノ線ハ第百四號線ト稱スルモノデアリマシテ、八幡濱線ノ大洲カラ肱川ニ沿フテ廻リ、次ニ廣見川ノ流域ニ出テ、

近永ニ於テ第百三號線ニ結ンデ宇和島ニ達スルノデアリマス、宇和島ニ達スル鐵道ヲ建設豫算ニ計上シタ當時、第百四號線、第百三號線、其何レヲ採ルカニ付キマシテハ色ミ研究モ致シ、又議論ガアツタコトト聞イテ居リマス、然ルニ大正十一年第四

十六議會ニ於キマシテ、第百四號線ヲ採ルコトニ決定シタ、當時ハ好景氣時代デアリマシテ、既成鐵道ノ輸送力ガ地方ノ要求ヲ充シ得ナイ線路モ處ミニアリマシテ、多額ノ改良費ヲ投ジテ改築スル必要ヲ認メテ

居ツタヤウナ次第デアリマス、從テ新線ノ規格モ多大ノ輸送能力ヲ有スルガ如キモノデアリマシテ、河川ニ沿フテ勾配ノ緩カナル第百四號線ヲ選ンダ次第デアリマス、然ルニ其後財政上カラ此線ノ著手ガ繰延ベラレマシテ、其間ニ時勢ガ變テ、地方的ノ

鐵道ハ必シモ斯ル多大ノ輸送能力ヲ必要トシナイコトガ明カトナツタノデアリマス、從テ鐵道線路ノ規格ガ低下シタノデアリマス、斯ノ如クニシテ、更ニ第百三號線ト第

百四號線トヲ比較研究スル必要ガ生ジマシタノデ、調査シテ見マス、卯之町ト吉田間ニ法花津峠ト云フ峠ガアリマシテ、其峠ノ峻ガアルノデ、最初ハ此處ニ鐵道ヲ通ズルノガ不可能ト考ヘラレマシタガ、隧道掘

鑿ノ技術モ其後長足ノ進歩ヲ致シマシタノデ、其峠ヲ貫クコトハ技術上左程困難デナイコトガ、明ニナツテ參リマシタノデ、八幡濱、卯之町、吉田ヲ經テ宇和島ニ達スル線路ハ、總テノ點ニ於テ他ノ線路ヨリ優

ルコトニナツタノデ、今回之ヲ選ンダノデアリマス、即チ大洲宇和島間ハ、近永經由ノ距離八十二料ニ對シテ、八幡濱カラ今回ノ線路ヲ通ジテ宇和島ニ至ル線路ハ四十

六料四デアリマシテ、三十五料ハ短縮スルコトニナルノデアリマス、又建設費ハ、大洲近永間七百二十六萬二千圓ニ對シテ、今回ノ八幡濱、宇和島間ハ五百八十九萬五

千圓デアリマシテ、約百三十七萬圓餘、減少スルコトニナルノデアリマス、隨テ鐵道ノ純益カラ中シマシテモ、建設費ニ對シテ、大洲、近永間ハ一分五厘デアリマスガ、今回ノ線路ハ二分九厘餘ニナルノデアリマス、唯今回ノ線路ノ缺點トスル所ハ、其勾配ガ比較的急デアリマシテ、且途中ニ笠置峠法花津峠ノ相當長イ隧道ガアルコトデア

リマスガ、工事大シク困難デアリマセヌカラ、前述ノ利益ノ點ヲ考ヘマシテ、此線ヲ選ンダノデアリマス、而シテ八幡濱宇和島兩方面カラ著手シテ、十二年度マデニハ完成セシメル豫定デアリマス

次ニ北海道ノ中標津標茶間ノ鐵道ハ、根室原野ヲ開拓スルモノデアリマシテ、根室原野ハ地味肥沃デアリマシテ、此沿線ノミニモ約六萬町歩ノ未墾ノ原野ガアツテ、移民約六千名ヲ收容スルコトガ出來ルノデアリ

マス、現時馬力ニ依ル軌道ガアリマスガ、近キ將來ニ其輸送能力ガ行詰ル傾向ガアルノデ、今回本鐵道ヲ追加セントスルノデアリマス

尙ホ現在敷設法ニアル卯之町ノ名稱ハ、片假名ノ「ノ」トナツテ居リマスガ、正シキ地名ハ漢字ノ「ノ」ト云フ字デアアルコトガ其後明ニナツタノデ、此機會ニ於テ訂正致シタ次第デアリマス、尙ホ特ニ問題トナツテ居リマス愛媛縣ノ鐵道ニ付キマシテ一言加ヘテ置キマスガ、先日モ本會議デ申上ゲマシタ通り、大正十三年デアリマシタカ、今ヨリ約十年前ニ、鐵道線路ヲ百三號線ト百四號線、何

レヲ選ベキカラ決定致シマシタ時ニハ、出來レバ今回改正シヨウト云フ方ヲ採リタカッタノデアリマスケレドモ、先刻申上ゲ

マシタ大キナ隧道ノ難工事ガアリマスノデ、技術上出來ナイト云フコトカラ、已ムヲ得ズ百四號線ヲ選ンダノデアリマス、然ルニ百四號線ノ計畫ハ、大正十三年ニ立テマシタニ拘ラス今日マデ度ニ繰延サレマシテ、今ニ著手セズニ居ッタノデアリマス、其沿線地方ノ人ハ、十年モ待チニ待ッタノデアリマスノニ、今回ソレヲ變更スルコトハ、洵ニ情ニ於テ忍ビマセヌケレドモ、右申シマシタヤウナ次第デ、技術上是ガ出來レバ、今回改正スル方ヘシタイト云フ、元カラノ

ニ立返ツタ次第デアリマス、以上大體ヲ申上ゲマシテ、尙ホ御質問ニ應ジテ御答致シマス

○寺田委員 一寸御説明ノ中ニ、手許ニ配付サレマシタ鐵道建設工事施行計畫變更一覽ト云フノニ依リマス、新ニ新規追加サレタモノハ四線ニナツテ居リマシテ、上土幌三股間ト云フノガアリマスガ、鐵道大臣ハ今三線追加ト云フノデ、三線ダケノ御説明デアリマシタガ、是ハドウナツテ居リマスカ

○三土國務大臣 是ハ敷設法ノ改正ヲ要スルモノガ三線デアリマス、上土幌三股間ハ、前ニ豫定線デ削除シテ居ッタモノヲ復活シタノデアリマス、隨テ法律ノ改正ヲ要サ

カ

ナイノデアリマス

○**委員長** 何か材料ノ御希望ガアリマシタラ此際……

○**原委員** 此敷設法改正ノ法律案デアリマスガ、質疑ノ範圍ハ鐵道ノ根本方針其他ニ關シテノ大體論デアリマス、細カイコトハナイノデスガサウ云フ範圍デ質問シテハイケマセヌカ

○**委員長** ソレハ差支アリマセヌ

○**大本委員** 私ハ材料ヲ一ツ願ヒタイノデアリマスガ、只今鐵道大臣ノ御説明ニ依リマス、愛媛縣ノ百三號線ト百四號線トノ關係デゴザイマスガ、大洲、八幡濱、卯之町ヲ經テ宇和島ニ至ル路線ガ四十六哩ト

ナツテ居リマスルシ、大洲カラ近永ヲ經テ宇和島ニ至ル路線ガ八十二哩ニナツテ居ルヤウデアリマス、併シ別號議案デ、宇和島、近永間ノ宇和島鐵道ハ、買収案ガ本年出ル

コトニ決定シテ居ルノデゴザイマス、サウスルト近永マデハ何レニセヨ鐵道路線ガ延長スルコトニナルノデゴザイマスガ、一ツ參考ノ爲ニ大洲、近永間ノ哩數、建設費、

又一面ニハ大洲カラ八幡濱、卯之町、吉田、宇和島ヲ經テ近永マデノ哩數及建設費ヲ御知ラセテ願フタラト思フノデアリマス

○**池田政府委員** 大洲近永間ハ六十三軒

三分、建設費ハ七百二十六萬二千圓、一寸

御參考マデニ申上ゲテ置キマスガ、此七百二十六萬二千圓ト云フノハ、簡易線トシテ今回新タニ調査シ直シタ建設費デゴザイマス、豫算カラ削除シテ戴クヤウニナツテ居ルノハ、元ノ調ベデハ九百四十三萬圓デアリマスガ、大洲近永間ハ、是ハ豫算ノ時

ニ又説明申上ゲマスケレドモ、本當ノ豫算面カラ落チル建設費ハ九百四十三萬圓デ、ソレカラ八幡濱宇和島間、卯之町、吉田ヲ經由シタ線路ハ、距離カラ云フト三十三軒

三分、建設費ハ……

○**大本委員** 私ノ御尋ネシタノハ、大洲近永間デス、詰リ八幡濱、卯之町、吉田ヲ經由スル大洲、近永間デアリマス

○**池田政府委員** 六十五軒一分デス

○**委員長** サウ云フノハ表ニシテ出シテ貫ッタラドウデス

○**大本委員** サウシテ戴ケバ結構デス、モウ一ツ御伺ヒシタイノデアリマス、高知縣ノ須崎カラ近永ヲ經テ大洲マデノ哩數及建設費ト、ソレカラ須崎カラ近永、宇和島、吉田、卯之町、八幡濱ヲ經テ大洲マデノ哩數ト建設費、是モ一ツ御聽カセテ願ヒタイト

○**原委員** サウ云フモノハ全部一括シテ貫

フコトニシマセウ

○**大本委員** ソレカラモウ一ツ高知縣ノ中村カラ近永ヲ經テ、卯之町ニ至ル哩數及工費、ソレカラ更ニ中村カラ近永、宇和島、吉田、八幡濱ヲ經テ大洲マデノ哩數ト工費ヲ御聽キシタイ

○**原委員** ドウデスカ今日ハ一ツ材料ヲ皆サント一緒ニ要求シテ、次回マデニオ互ニ研究シテサウシテ質疑ニ入ルヤウニシテ、本日材料ガナケレバ散會シタラ如何デアリ

○**清水委員** 材料ヲ要求致シタイノデスガ、省營デ自動車ヲ經營シテ居ラレル部分

デスガ、從來建設線ニ入ッテ居ッタモノヲ、鐵道デハイケナイト言ッテ自動車ニ變更サレテ、今日御經營ニナツテ居ル部分ガアル

ト思フ、建設線ニ入ッテ居ッタ部分ト、入ラナカッタノトアレバ、兩方共戴キタイ、ソレカラ更ニ現在建設線ノ中ニアル部分デ、計

畫ノ中ニ自動車經營ノ方ニ移スヤウニ決定シテ居ルモノ、若クハ計畫シテ居ルモノガアッタナラバ、御調べヲ願ヒタイ、ソレガ

第一デス、其他ノ材料ニ付キマシテハ、今私書イタモノヲ家ニ置イテ來マシタ爲ニ、

○**八田委員** 原君カラ議事進行ニ關スル御

意見ガアリマシタ、私モ同感デアリマス、材

料ヲ御願致シタイト思ヒマスルガ、是ハ内務省デ契約シタ土木事業ノ匡救費ト云フモノヲ各府縣ニ分配シマシテ、各町村毎ニ必ズサセルヤウナ方針ヲ以テ各府縣ニ分配シ

タ金額ガアルガ、其金額ヲ府縣別ニ承知シタイ、ト思ヒマスルノハ鐵道ノ方、鐵道ノ建設費ノ費用デアリマス、昭和八年度ノ建設費ト云フモノハ、何處府縣ニドウ分配サ

レルヤウニナツテ居ルカ、其區別ヲ欲シイノデアリマス、私共ノ考デハ、各府縣ニ建設セシメタ方が、土木匡救事業ト相伴ッテ

非常ニ地方ニ公平ニ費用ガ分配サレルヤウナコトニナツテ來ルノデアッテ、地方事業ノ農村ノ救済ノ方カラ申スト云フト、建設工

事ヲ各地ニヤラセルヤウニ致シタカッタト思フノデアリマス、然ルニ鐵道省ノ方針ガ

急ニ變更シタモノカ、其ノ豫定ノ計畫ヲ捨テ、サウシテ或處ハヤル、或處ハヤラナイ、昭和八年度ニ於テノ建設費ト云フモノ

ガ、最初サウ云フ風ニ各縣ニ分配的ニナツテ居ッタモノガ變更シテ參ッタ、ソウデアリ

マスルカラ、昭和八年度ニ於テ、既定ノ通りナラバ各府縣ニドウ云フ風ニ建設費ガ分配ニナツテ居ッタカラ一ツ調べテ見タイト思

救費ノ方ノ各府縣別ノ金額、是モ府縣別ニ一寸調べテ見タイト思フ、若シ昭和八年度ノ建設費ノ方ノ變更ガナカッタラバ、ドウ云フ風ニ分配ニナツテアツタカ、今回モ亦變更シタ爲ニ、ドウ云フ風ナ分配ニナルカラ、一寸建設費ヲ見テ區別シテ見タイト思フ、是ハ一寸面倒ナヤウデアリマスガ、内務省ノ方面ノ方ハ内務省ニ御要求ヲ願フテ宜シイ、土木匠救費ト云フモノハ、各府縣別ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、港灣トカ何トカハ要リマセヌガ、唯土木ト云フ上ニ付テノ區別デ宜シウゴザイマス、ソレカラ鐵道省ノ方ニ於テハ、昭和八年度ニ於テ既定ノ通り建設ヲ爲シテアツタラバ、各府縣ニドウ云フ風ニ費用ガ分配ニナツテ居ツタカ、ソレカラ變更シタ爲ニドウ云フ風ニ府縣別ニ變更シタカラ御尋シタイ、此調ガ出來得ヤウカドウカ、一寸私共ノ考デハ、新ニ土木匠救費ト云フモノヲ各市町村ニ強ヒツ、アルケレドモ、其建設ヲ専ラ各地ニヤラセルコトガ、一番地方ガ救ハレテ居ツタデアラウト思フノデアアル、其點カラ考ヘマシテ、ムヅカシイヤウデアリマスガ、其調ベヲ幾分分ルヤウニシテ頂戴シタイト思フノデアリマス、出來ルカ出來ナイカ一寸分リマセヌガ……其次ニ國防上カラ、陸軍ガ

建設ヲ請求シ、サウシテ變更スル意向ヲ現ハサレタト云フコトニ付キマシテ、陸軍ガ何時カラサウ云フコトヲ言ヒ始メテ來テ居ツテ、今回實行スルコトニナツタノデアアルカ、其間ノ經過ニ付キマシテ、之ヲ吾ミニ納得セシムルダケノ材料ヲ提出シテ戴キタイ、私共ノ考デハ、國防上カラ申シマシタナラバ、鐵道ノ建設ヲ圖ルコトハ、マダマダ非常ニ早クサレナケレバナラヌ處ガ他ニ澤山アルト思フ、全國ニ於テ國防上カラ色色考ヘマスト云フト、馬匹ノ問題デアルトカ、輸送計畫ノ上カラ申シマシテ早く建設シナケレバナラヌ處ガ澤山アル、戦争ニ於テハ吾ミハ馬ガナカルベカラザルモノト考ヘテ居ル、馬ノ生産地カラ馬ノナイ方ヘ持つテ來ルコトハ、動員計畫ニ於テハ早クヤラナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘテ、東北方面ノ建設ハウント早くシナケレバナラヌ、斯ウ云フ方面ニ於テ軍部ハドウ云フ風ナ方法ヲ執ツテ居ルカ確メタイト思フ、今回國防ノ上カラ既定線路ヲ變更シテ、陸軍カラ之ヲ鐵道省ニ請求シテ來タツタコトハ、爲シ得ルナラバ書面デ何時何時斯ウ云フ交渉ガアツタト云フコトニ付テ、吾ミヲ納得セシムルヤウニ御示シテ願ヒタイ、是ハ陸軍當局ガ來テ説明シテ貰ッ

テモ宜イト思ヒマス、鐵道省方面ニ於テ陸軍カラノ交渉ヲ受ケテ、斯ウ云フ斯ウ云フ爲ニ斯ウヤッタト云フヤウナ、納得セシムルヤウニ、モウ少シ材料ヲ出シテ貰ヒタイ、ソレカラ是ハ別ナコトデアリマスガ、此問題ニヤハリ關聯致シテ居リマス、最初原君カラ御話ガアツテ、委員長ハ一般ニ付テノ質問モ宜イト云フ御話デアリマスカラ申上ゲマス、私鐵買收法案、是ハ遠カラズ議場ノ問題ニナツテ來ルト存ジマスガ、ヤハリ是ト關聯シテ居ルヤウナ感ガ致シマスカラ伺ツテ置キマス、此私鐵買收案ハ、前内閣ノ當時ニ於テ計畫シタル買收案、即チ床次サンガ鐵道大臣トシテ敢行スベク企テラレツ、アツタ私鐵買收線ト、今回爲サントスル私鐵買收線、此區別ヲ御報告願ヒマシテ、サウシテ何ノ爲ニ斯ウ云フ風ニシタカト云フコトニ付テノ材料ヲ頂戴スルコトガ出來レバ仕合セト思ヒマス、其外色ミアリマスガ、先ヅ今ノヤウナコトガ出來ルカ出來ナイカラ御聽シマシテ、更ニ又此次御願スル、私ハ此三ツヲ御聽シマシテ材料ヲ得タイト思フガ、ドンナモノデアリマセウカ

別ニ割ツテ見テ、ドレダケノ建設費ノ分佈、金額ニナルカト云フ表ヲ貰ヒタイト言フノデスナ、ソレハ早速出來マスルガ唯御注意願ツテ置カナケレバナラヌノハ、鐵道ノ建設費ノ中ニハ車輛費モアルシ、「レール」ノ費用モアルシ、枕木ノ費用モアル、サウ云フモノハ其地方カラ必ズシモ調達シナイノデス、隨テ建設費ノ中デ純粹ノ土木事業費ノ外ハ、其土地ヘ落チナイノデアリマス、サウ云フ區別マデ一々スルコトハ困難デアリマスカラ、總括シタモノヲ申上ゲル外ナイノデアリマス、ソレカラ時局匡救ト鐵道トノ問題ニ付キマシテハ、是ハ明瞭ニ致サナケレバナリマセヌガ、内務省ガヤリマスル土木事業ノ如キモノハ、租稅負擔デアルノデアリマス、鐵道ハ國家ノ一ツノ事業デアリマス、事業會計ノ計算デアルノデアリマスルカラシテ、時局匡救トハサウ關聯ヲ持タナイノデアリマス、經濟界ノ狀況、輸送能力ノ關係等カラシテ、算盤ヲ探ッテ見テアルノデアリマスカラ、時局匡救ノ爲ニ、各府縣ニ出來ルダケ事業ヲ割當テルト云フヤウナコトハ、鐵道ノ經營トハ一致シナイ場合ガ多イ、其點ハ御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ陸軍ガドウ云フ風ナ要求ヲ是マデシタカト云フヤウナコトハ、是ハ國

○三土國務大臣 鐵道ノ計畫ヲ變更シナカッタトスルナラバ、昭和八年度ニ各府縣

防上ノ問題デアリマスカラシテ、或ハ迂カ  
リ言ヘヌカモ知レヌ、又ドウ云フ書類ヲ以  
テ、ドウ云フ交渉ヲシタカト云フコトハ言  
ヘヌカモ知ラヌガ、若シ必要アレバ、陸軍  
ノ政府委員ニ出席シテ貰ッテ、其方カラ説明  
シテ貰ッテ方宜イデハナイカト思ヒマス

○八田委員 第三點ノ私鐵ノ買収ニ付テ：

○三土國務大臣 床次君ノ時代ダケデ宜シ

ウゴザイマスカ——床次君ノ計畫シタノト  
今度ノト表ヲ差上ゲルコトハ簡單デアリマ  
ス、唯床次君ガ計畫シタノハ、鐵道ノ運輸  
交通ノ連絡上ノ見地カラ、國有線ノ間ニ挾  
マッテ居ル私設鐵道ヲ買収シテ、一貫シタ  
運輸ヲヤラウト云フヤウナ建前カラ來タモ  
ノガ多イノデアリマス、所ガ今度ハ財政上  
ノ都合カラ考ヘマシテ、鐵道自身ノ立場カ  
ラ申シマス、相當買収シタイモノガ多イ  
ノデアリマスケレドモ、今日ノ財政ハ滿洲  
事件、時局匡救、其他歳入ノ缺陷等ニ因  
リ、一般會計、特別會計ヲ通ジテ、十億圓  
程ノ公債ヲ發行シヨウ、而モ其全部ヲ一時  
日本銀行ニ引受ケシメナケレバナラヌト云  
フヤウナ狀況デアリマスカラ、サウ云フ場  
合ニ交付公債ヲ多ク出スコトハ考ヘモノデ  
アルト云フ見地カラ、其方ヲ見合セタノデ

アリマス、今度買収シヨウト云フモノハ、  
建設工事が昭和八年度ニ其處ヘ打付カルノ  
デ、已ヲ得ズ買収シナケレバナラヌ、斯ウ  
云フモノダケニ止メタノデ、立場ガ全然違  
ヒマスカラ、其點ダケハ豫メ御諒承ヲ願ッ  
テ置キマス

○八田委員 今ノ三點ニ付テ出來ルダケノ

材料ヲ御提示下サルト云フコトデ満足致シ  
マス、幸ヒニサウ云フモノヲ伺フコトガ出  
來ルトスルナラバ、モウ一ツ御願ヒシテ置  
キタイ、遡ッテ江木鐵道大臣ノ當時ニ於テ  
建設線ヲ打切ッたり、繰延タリ色ニ致シマ  
シタ、アノ當時ノコトヲ分ルヤウニ圖面ト  
金額トヲ現ハシテ御示シテ願ヒタイ

○村上委員 第百二號線ハ自動車ニ依テ交

通機關ノ完成ヲ圖ルト云フコトデアリマス  
ガ、自動車ニ要スル經費ト鐵道ニ要スル經  
費トヲ對照シテ示シテ戴キタイ、モウ一ツ  
ハ第百三號線デアリマスガ、是ハ一部ノ變  
更ニナリマシテ、愛媛縣ノ八幡濱カラ卯之  
町、吉田、宇和島ヲ經テ高知縣中村ニ至ル  
ト云フコトニナルノデアリマスカ、若シサ  
ウナルト致シマスレバ、其間ノ距離竝ニ工  
費ヲ承リタイ

○井上委員 私ハ原君ノ動議ニ賛成ヲ致シ

マス、唯此機會ニ、私ノ記憶デアリマス

ガ、田中内閣時代ニ未著手續ノ建設著手ノ  
線上、若クハ線下ヲサレタト思ヒマス、若  
シサウ云フモノガアッタトスレバ、矢張り  
原君ノ御希望通りニ、ソレヲ參考書ノ一部  
トシテ御提出下サルヤウニ御願ヒシテ置キ  
マス

○大本委員 我先刻申シ漏シマシタガ、先

刻ノ材料ニ關聯致シマシテ、宇和島鐵道ノ  
買収ノ豫定價格ト、ソレカラ改良費ノ豫算  
ト、兩方ヲ御示シテ願ヒマス

○八田委員 序ニモウ一ツ材料ヲ御願ヒシ

タイ、自動車ノ御話ガ今アツタヤウデスガ、  
自動車ヲ以テ交通ノ完備ヲ期スル計畫ガ、  
鐵道省トシテ御有リニナルヤウニ聞イテ居  
リマスガ、其計畫ノ大體等モ此際檢討スル  
必要ガアリマスカラ、其線路名、金額等、  
此際材料ヲ御提出願ヒタイト思ヒマス

○委員長 他ニ御要求ハアリマセヌカ

——ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス、  
次回ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午前十一時四十一分散會

昭和八年一月二十八日印刷

昭和八年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所